

教えて！ 議会のこと

市議会ってどんなことをしているの？
わがまちのマスコットキャラクターたちから投げ掛けられる質問に議会広報特別委員会がお答えします！



みかぼん

学校やこども園、交流プラザを建てるため、市はお金をたくさん借りているって本当？

市からは昨年度末で約177億円の借金があると報告があったよ。でもね、その借金の一部を国が出してくれるので、実質的には約39億円の借金を少しずつ返すことになるんだ。



委員



みかぼん

そんなにたくさん！それで市の経営は大丈夫なの？

みんなのおうちと同じで、お金を借りるときには、市も家計状況をきちんと報告し、ちゃんと返せるのかチェックされるんだ。少しずつ借金を返しながら、毎年、余ったお金は貯金もしているから、安心していいよ。



委員



みかぼん

それにしても借金が多い気がするけど、将来は大丈夫かなあ。

将来のために整備しているんだよ。学校やこども園、交流プラザは、災害に強い安全な施設に集約しているんだ。古い施設を廃止することで、管理費用は少なくなるし、廃止した建物は貸したり、売ったりしているよ。



委員



みかぼん

そういうことかあ。いつまでも島に住み続けたいから心配だったんだ。

いつまでもみんなが安心して暮らせるように、何にどのくらいのお金を使うかチェックするのが私たちの仕事だからね。これからもみんなの声を議会に寄せてね。



委員

- 議会広報特別委員会
- 委員長 長坂 実子
 - 副委員長 宮下 成美
 - 委員 岡野 数正
 - 委員 美濃 英俊
 - 委員 平本 美幸
 - 委員 上本 雄一郎

上本 雄一郎

令和3年11月に始まった任期も折り返し地点を過ぎ、10月臨時会を経て、議会の体制も変わりました。議会広報特別委員会では、各号制作にあたり5回は会議を開きますが、この間、第70号で紙面構成を大きく変えて以降、委員一同が集まるたび、口角沫を飛ばす議論を重ねてきました。思えばそれは、よりよい広報の在り方に関する議論だったのみならず、よりよい議会の在り方を模索する時間だったのではないかと、今では受け止めています。今号の「市民の声」では、今夏の市民懇談会の模様を報告しています。市民の皆さまの声をさらに議会へと寄せていただきたい、またそれに応えられる議会でありたいと念じるところです。

編集後記